



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2021 4



講師 迫 裕太 氏



2月23日(火)「ひょうご消費者セミナー2020」をオンラインで開催し、48人が参加しました。
(関連ページP4)





兵庫県立大学生協同組合 専務理事
兵庫県生活協同組合連合会 副会長理事

末松 泰信

(すえまつ・やすのぶ)

これからの「ありがた」

日ごとに暖かさを感ぜられるようになってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。入学や入社・転勤など、新たなステータジに期待を寄せる時節ですが、新型コロナウイルス感染症によって、日常とは異なる環境が個人のモチベーションにも影響するのではないかと懸念しています。

私の所属する兵庫県立大学生協では、供給高が3割減で、経営や雇用にも大きな打撃を受けており、他の大学生協も概ね同じ状況ですから、クローズドマーケットであるがゆえ、簡単に打開策を打ち出せないところではあります。

さて、生活協同組合とて一般事業者と同様に、組織のありがたを見直さなければならぬのではないかと、と思う点について、いくつか記します。

- ・自然災害は局地的で他の地域からの供給にてシエア出来ますが、今回は世界規模であるがゆえ、大規模なサプライチェーンを再編し、地域単位での活動が主体となるのではないかと。

- ・これは大局的にはリスク分散のためであり、かえって地域にイノベーションを生じさせるチャンスにはならないかと。テレワークが進むと、時間管理や人間性も加味した温かみもある評価から、成果主義へと移行するのではないかと。

- ・今持ち得る資産や資源を、再構築や再結合するなど最大限に活用し、柔軟に迅速に変化できる力がないと生き残ることが出来ないとする、トップダウンを含む朝令暮改のような組織が求められるのではないかと。

- ・今は耐え凌ぎ発展させるためには、まず最も良くない事態を想定した財産確保と固定費のバランスと業務の優先順位をつけ取捨選択し、アフターコロナの事業展開をすでに見据えるべきではないかと。

- ・リモート併用が常態化する世界では、規模の大小にかかわらずデジタル化に精通する組織になることに加え、コトやモノを提供する場合に、リカーリングやサブスクリプションを組み込んだ事業を構築する必要があるのではないかと。

これらのことは、良し悪しではない組織側の事業継続・戦略としての理屈かもしれないませんが、逆読みすると、同じ環境下にいる組合員や地域目線で見れば、本当に求めている最良のサービスを享受できることも含まれているのではないかと、思います。

我慢と忍耐の繰り返しを経てちょうど一年が経過し、元に戻らない生活を続けていると、最初は日常との乖離から「欲求不満」に始まり、そのうち「出不精」になってしまいます。大学を構成する組合員が、「テレワーク」とか「オンライン授業」とかを続けているとこうなることを危惧しています。しかしながら、人間はそんなに軟なものではないこともわかりました。学生に対するオンラインによる「消費者教育」「生き方ロールモデル」などセミナーを随時行っているのですが、多くの学生が参加し、一様にしっかりと先を見据えた前向きな発言をしていて、「若者はたいしたものだ、むしろ我々世代がすっかりしなくては」と心底感銘した次第です。医学的なことはわかりかねますが、これら組合員への企画・機会の提供を進め、日常のサポートやケアを継続して行いたいと考えています。

これから、復旧というより、復興そして再生へとコマを進めて参りますので、どうぞ、各方面からのご支援のほど、よろしくお願い致します。

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| 2. 想点 | 5. 労働安全衛生研修・学習会 報告／
兵庫JCC「第1回虹の仲間づくりカレッジ」 報告 |
| 3. 単協通信 生活協同組合コープこうべ／
2021年度「兵協連だより」 通信員紹介 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 共済生協部会 報告／
ひょうご消費者セミナー2020 報告 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| | 8. ひょうごまるごと健康チャレンジ2020 報告／
2021年度行事予定（主要行事）／県連行事予定／編集後記 |

生活協同組合コープこうべ

第8回「食品産業もつたない大賞」

農林水産大臣賞を受賞しました

コープこうべは、食品産業の持続的な発展に向け地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等を推進し、顕著な実績を上げている組織として、第8回「食品産業もつたない大賞」農林水産大臣賞を受賞しました。

公益財団法人「食品等流通合理化促進機構」は、食品廃棄物の削減・再生利用、省エネルギーなどの取り組みや、これらに関する消費者への啓発活動を行っている団体・個人を表彰しています。コープこうべは、「組合員・地域とすすめる食品ロス半減」の取り組みが認められ今回の受賞となりました。

2月5日、受賞者による事例発表会がオンラインで行われ、環境推進の鬼澤康弘さんが参加。消費・賞味期限が近付いて



賞状を受け取り喜ぶ環境推進のメンバー



「てまえどり」を促している売場

いる商品から先に購入するよう促す「てまえどり」のほか、家庭で使いきれない食品を持ち寄り福祉施設などに無償で提供する「フードドライブ」、環境共生型農園「エコファーム」、食品工場のバイオマス発電の取り組みなどを発表しました。

コープこうべは2021年4月、創立100周年を迎えました。これからも組合員のみならず、食品リサイクルの強化、食品ロス削減の取り組みをすすめていきます。

(通信員 榎原 晶子)

2021年度「兵協連だより」通信員紹介

2021年度の「兵協連だより」通信員のみなさまです。よろしくお願いします。

購買生協	
生活協同組合コープこうべ	榎原 晶子さん
生活クラブ生活協同組合都市生活	小松 高志さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	出口 勇治さん
生活協同組合連合会コープ自然派事業連合	有岡 真知さん
西宮市職員生活協同組合	宮田 正樹さん
尼崎信用金庫職員生活協同組合	島田謙太郎さん
大学生協	
神戸大学生生活協同組合	坂本 安弘さん
関西学院大学生生活協同組合	満田 弘樹さん
神戸市外国語大学消費生活協同組合	中尾 太樹さん
甲南大学生生活協同組合	中谷 満子さん
兵庫県立大学生生活協同組合	末松 泰信さん
神戸薬科大学生活協同組合	浅野喜一郎さん
神戸親和女子大学生生活協同組合	木村 祐一さん
大手前大学生生活協同組合	生田 正和さん
園田学園女子大学生生活協同組合	大西 範和さん
甲南女子大学生生活協同組合	新田 和代さん
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	久保田尚稔さん
大学生協事業連合 関西北陸地区	今村 奈星さん

医療生協	
神戸医療生活協同組合	松本 昌之さん
尼崎医療生活協同組合	岸本 貴土さん
阪神医療生活協同組合	塩見 有生さん
宝塚医療生活協同組合	前田 秀輔さん
姫路医療生活協同組合	久保 茂さん
ろっこう医療生活協同組合	古市 賢二さん
たじま医療生活協同組合	春木 圭介さん
ひまわり医療生活協同組合	酒井 成美さん
共済生協	
神戸市民生活協同組合	豊村 亜子さん
尼崎市民共済生活協同組合	橋本 由美さん
姫路市民共済生活協同組合	山本 悠人さん
西宮市民共済生活協同組合	白井 浩さん
兵庫労働共済生活協同組合	南雲 健一さん
生協以外の会員	
近畿労働金庫兵庫地区本部	井奥真貴子さん

※変更・継続のご報告をいただけない生協につきましては、2020年度通信員を継続掲載しております。
変更がある場合は、兵庫県生協連までご連絡をお願いいたします。

第3回 共済生協部会 学習・研修会開催

2月18日(木)、兵庫県民会館とオンラインのハイブリッド形式で共済生協部会 学習・研修会を開催しました。テーマは9月から募集開始となる「学生総合共済の概要と取り組み」。CO・OP共済における学生総合共済の位置づけや保障内容、契約の特徴や加入方法を日本コープ共済生活協同組合連合会 立石 洋氏から説明いただきました。各生協にとって初めての内容も多く、募集対象や新社会人コースの内容などについて活発に質疑が交わされました。



日本コープ共済生活協同組合連合会 立石 洋氏



「ひょうご消費者セミナー2020」オンライン開催 コロナ時代の居場所の見つけ方

ひょうご消費者セミナーは4団体（兵庫県生活協同組合連合会、生活協同組合コープこうべ、特定非営利活動法人消費者支援機構関西（KC's）、特定非営利活動法人ひょうご消費者ネット）の共催で、「適格消費者団体」や「消費者団体訴訟制度」についての理解を深めるとともに、消費者被害の防止を目的に2008年度から開催しています。

冒頭、主催4団体を代表し、ひょうご消費者ネット理事長の鈴木 尉久氏が挨拶。次に、ひょうご消費者ネットとKC'sの活動を動画で配信しました。

講演で、迫氏は「このような時代だが、今しかできないことがある。ニュース等で不安になったりネガティブになるが、空（事実）・雨（状況の解釈）・傘（行動）の考え方を使いながら様々な方法で人と人がつながる機会を作り、助け合うことが大切」と参加者に語りかけました。

講演後は、ポストコロナのメッセージソングとして、兵庫県の助成・協力を得て、コープこうべと「にこいち」が制作した「さんぶんのに」ミュージックビデオを配信しました。



講演「コロナ時代の居場所の見つけ方」
株式会社 LITALICO 迫 裕太氏



開会あいさつ
ひょうご消費者ネット
理事長 鈴木 尉久氏



司会
ひょうご消費ネット
理事 大谷 敦子氏

第11回兵協連労働安全衛生研修・学習会 オンライン開催

2月22日(月) 第11回「労働安全衛生研修・学習会」をZoomを使って開催。
7会員生協・5関連会社から50人が受講しました。

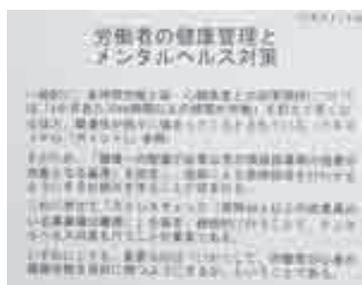
テーマ：「新しい時代に求められる職場づくり～with コロナの働き方～」

講師：社会保険労務士 岡崎 壮史 氏^{マサフミ}

「働き方改革をすすめる企業事例」として、「残業＝頑張っている」との上司評価意識や「残業減少＝収入減少」という社員の意識改革に取り組み、顧客の信頼を保ちながら生産性を高めた事例紹介等を解説。他に、「法改正と過重労働防止」の項では最新の労働法改正内容の詳細な解説と年休取得・勤務時間インターバルなど健康経営について、また不合理な待遇差禁止について最新判例を含め講演されました。

「ハラスメント」についても、職場パワハラ3要素と具体的内容を定義し、たとえば社外の人もパワハラの対象となるなど注意点を解説されました。

事後のアンケートでは「過重労働解消を改めて認識できた」「自分の職場でもよいことはできるだけ導入したい」「均等・均衡待遇について未だ分かりにくい」などの感想が寄せられました。



兵庫 JCC 「第1回虹の仲間づくりカレッジ」開催報告

「第1回虹の仲間づくりカレッジ」を2月25日(木)、コープこうべ協同学苑で開催し、生協・農協・漁協・森林組合の職員12人が参加しました。虹の仲間づくりカレッジは、県内協同組合の職員の交流を通じた協同組合間協同の実現を目的として2015年から兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）とコープこうべが共催で実施しており、昨年度までに122人が参加しています。

午前は、コープこうべ協同学苑の浅田克己学苑長から「協同組合運動のいま、そして未来—変わる経営、変わらぬ理念—」と題して、講演いただき、午後は、「生産」「環境」「地域のコミュニティ」などの問題を「持続可能な開発目標（SDGs）の視点で協同組合としていかに解決するか」課題化し、第2回（5月21日）に向け、実践企画づくりを進めました。



グループワーク



講演 浅田 克己 氏

JF

JF 森

淡路市立学習小学校で のりの勉強会

2月9日(火)、学習小学校（淡路市仮屋）の4年生児童計49名を対象に、乾のり勉強会が行われました。

この勉強会はJF 森（森幸好代表理事組合長）が、主幹漁業であるのり養殖を地元の小学生に知ってもらうため、毎年開催しています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、のり加工場の見学は中止となり、同小学校体育館での開催となりました。まず、JF 兵庫漁連小西課長代理と森重主任が、のりの糸状体培養から乾のり生産についてDVDにより説明、同小学校教員がのり加工場での作業を取材してきた動画を視聴後、同漁協のり養殖委員会大草委員長から、実際にのりの原草、乾のりを児童に見てもらうなど、詳しく説明がありました。

児童から、「のりを作るのにどのくらいの時間が必要なのか」、「のりの種は目で見えるのか」、「なぜ、のりは平らな形なのか」と様々な質問が飛び出しました。また、「全然のりの事を知らなかったのが今日勉強できてよかった」などの声も聞かれ、約2時間程度の勉強会でしたが“のり養殖”についての理解が深まったようでした。

大草委員長からは、「実際にのり加工場を見学してもらえなかったのが残念である。地元の児童にのり養殖を知ってもらえる行事として、今後も続けていきたい」と話がありました。



実際に乾のりを
手にする児童

JA

JA 兵庫南

農福連携の取り組みで 農業労働力の確保と生きがいの創出へ

JA 兵庫南では、農福連携に取り組むことで、農業労働力の確保と、地域の障がい者がいきいきと働くことができる場所の創出に貢献しています。

JAでの農福連携の取り組みは、生産者からの労働力確保に関する意見をきっかけとして平成30年度に開始し、令和元年度にはアグリ支援課を立ち上げ「農福連携プロジェクト」として本格的に進めています。

JAでの地域の障がい者に対する就業支援を行うマッチング事業は、①労働力が必要な生産者が依頼したい作業内容をJAに伝え、②JAが福祉事業所に募集をかけ、③障がい者に実際の現場で作業を体験してもらい、就業が可能だと判断できればマッチングが成立するという仕組みです。

令和2年度の取り組み実績は5件で、作業内容は、作物の植え付けや収穫、選別、袋詰め、ハウス内の除草等です。トマト生産者の畠幸生さんの農園では、福祉事業所の利用者2人と支援員とで収穫作業を行い、畠さんは他の作業を行っていました。畠さんは「一生懸命頑張ってくれて、スムーズに分業できて助かっている。今後も一緒に工夫して農作業をしていきたい」と話しています。

JAでは今後も、生きがいづくりに貢献しながら地域の農業を守るために取り組みを進めていきます。



地域の障がい者ととも
に働くトマト生産者



最近の消費生活相談事例

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法にご注意

新型コロナウイルス感染症に便乗した新たな消費者相談が寄せられています。不安に思っている人や困っている人に付け込む手口が多いので、おかしいと思ったら、お近くの消費生活センターに相談しましょう。

事例①

「高齢者は新型コロナウイルスのPCR検査が安くできる」という手紙が届いた。代金を振込むと検査キットが送られるようだが大丈夫か。(70代、女性)

【アドバイス】

自費でPCR検査を受ける方も増えていますが、不確かな情報に惑わされるのではなく、検査の必要性や信頼性について、かかりつけ医などに相談しましょう。なお、厚生労働省のホームページには「自費検査を提供する検査機関一覧^(*)」が掲載されていますので確認しましょう。

^(*)こちら→



事例②

「以前、旅行の際に当店で購入していただきありがとうございます。新型コロナで店が倒産したので個人で販売している。1万2千円で魚介類を購入してもらいたい。」と観光地の土産物店を名乗る電話があった。旅行で購入した覚えはないが本当か。(60代、女性)

【アドバイス】

話の内容に覚えがない、うそがある、など不審な点があるときは「すぐに」「きっぱりと」断りましょう。勧誘電話で契約したときは、契約書面を受け取ってから8日間はクーリング・オフ（無条件解約）できます。一方的に商品を送り付けられたときは、送り主の名称や住所をメモしてから、受け取りを拒否しましょう。



少しでも不安を感じたら、すぐにお近くの消費生活センターに相談してください。

(兵庫県立消費生活総合センター ☎078・303・0999)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。朝起きて、電車へ乗り、事務所へ向かい、掃除をして、仕事をして、いつの間にか夜が来て、家へと帰ります。家へたどり着くと、自宅の郵便受けをなんとなく、毎回チェックしてしまいます。

誰かからの郵便物を待っているわけではないので、郵便受けには、チラシやマグネット付きの広告が入っている程度です。それでも、時々、宛名入りの郵便物が入っています。宛名が入っているだけで「なんだろうか」と思い、送り主を見て、封をあけてしまいます。けれども、そのほとんどが新商品の案内や勧誘などで、特に必要のない郵便だったりするのですが。

私は司法書士という仕事をしているので、相続に関わることも多いのですが、お客様から時々「相続の手続きをしたことが、知られてしまっている」「相続した不動産を売りますか?というダイレクトメールが届く」という相談を受けることがあります。なぜ、このようなダイレクトメールが届いてしまうのでしょうか。なぜ、相続をしたことがわかってしまうのでしょうか。このあたりのことを、次回、お話していきたいと思います。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



MOVE



ひょうごまるごと健康チャレンジ2020



「ひょうごまるごと健康チャレンジ2020」は食事・運動・リフレッシュなど、21のコースから選んだものを30回継続することで健康な生活習慣を楽しみながら身につける取り組みです。実施期間2020年9月～2021年1月31日、昨年を上回る約3,500人が参加し、合計11,000コースを達成しました。

「達成はがき」感想から…



- ・期間中、2回チャレンジしました。毎日の習慣になりつつあります。良い企画をありがとう。
- ・コロナで大変な毎日ですが、これからも健康チャレンジしっかり取り組みます。
- ・新聞に「あいうべ体操」がインフルエンザ予防になるとあったのでとりくみました。マイチャレンジカレンダーを目に付くところに張り、続けることができました。
- ・10分より15分、30分と歩く時間を長くしました。出かけることで生活のリズムができました。



ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会では、7月（予定）から始まる「ひょうごまるごと健康チャレンジ2021」を企画中！

昨年はチャレンジできなかった方も今年は、健康習慣づくりを始めましょう。

2021年度行事予定(主要行事)

※変更になる場合があります

開催日	兵協連主要行事／研修	開催日	兵協連主要行事／研修
4月 5日(月)	第6回理事会	4日(月)	第3回理事会
5月 24日(月)	監事会(期末監査)	10月 未定	2021年度兵庫県生協大会
6月 7日(月)	第7回理事会	12月 6日(月)	第4回理事会
	第71回通常総会・第1回理事会	2021年 1月 8日(土)	新春トップセミナー・賀詞交換会
7月 2日(金)	国際協同組合デー・兵庫県記念大会	2月 7日(月)	第5回理事会
8月 2日(月)	第2回理事会		
	近畿地区生協・行政合同会議		

県連行事予定

- 4月2日(金) 兵協連第3回保健・医療・福祉研究会 (県民会館 ぼたん / オンライン併用)
- 4月5日(月) 兵協連第6回理事会 (県民会館 鶴 / オンライン併用)
- 4月15日(木) 兵協連第1回災害対策委員会 (県民会館 / オンライン併用)

編集後記

桜の開花宣言、今年は早かったですね。暖かい日が続いていますが、この時期、服装に困ります。(毎年、同じことを言っています。…)寒がりなので基本、厚着！一人だけ冬服で恥ずかしい思いをすることも多々あります。「ひょうご消費者セミナー2020」(P4参照)でお話いただいた皆さんは、毎年、一年の目標をたてると伺いました。遅ればせながら新年度スタートにあたり、「朝は余裕をもって、気象予報を確認しながら出掛ける」とおおよそ目標とは言えないような目標をたてました。新型コロナウイルスで行動は制限されますが、少し外へ出て春を感じたいと思います。